

日本グランプリシリーズ 神戸大会 第70回兵庫リレーカーニバル

【出場結果】

実施日 : 4月23日(土) 10000m
4月24日(日) 1500m

会場 : 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

出場者 : 親崎 達朗 ・ 小林 航央

出場種目・出場者・リザルト

氏名	親 崎	小 林
種目	10000m	1500m
タイム	29'36"11	3'46"15
順位	22/30位 ※2組タイムレース	10/12位

【レポート】

第70回兵庫リレーカーニバルのグランプリレース1500mに小林、アシックスチャレンジの10000mに親崎が出場して参りました。

小林は6月に行われる日本選手権に向け、本番のレースを想定して3分45秒切りを目標とし、親崎は10000m28分台の自己記録を目標に出場しました。



28分台を目標に走る親崎

初日の23日はアシックスチャレンジの10000mが開催され、タイムレースの1組目に親崎が出走し、ほぼ無風の好条件の中、自身初の28分台を目標にスタートしました。

先頭集団が5000mを14分25秒で通過する中、親崎も集団の流れに乗り28分台への期待が高まりましたが、6000m手前で集団から離れ始めると、終始単独走でレースを進めることとなり、苦しい展開となりました。

その後は最後まで親崎らしい粘りのある走りでまとめ29分36秒台でのゴールとなりました。



安定感のある走りを見せた親崎

翌24日はグランプリレースの1500mが開催され、日本選手権の本番を彷彿とさせる選手たちが揃う中、小林が3分45秒切りを目標にスタートしました。



日本トップレベルの選手が揃う中、スタートを待つ小林

今回は 800mまでペースメーカーが先導するレースで、小林はペースメーカーが抜けた後も、先頭を引っ張る積極的な走りを見せて、1000mまでレースの主導権を握りましたが、後方で力を溜めていた選手達がスパートをかけると、身体が固まってしまい順位を落としました。

最後は力強いラストスパートを見せて 3 分 4 6 秒台でのゴールとなりました。



勢いのあるレースが出来ており、次戦にも期待が高まる小林

【総括】

親崎は、一人で走ってもしっかりと粘る安定感のある走りが出ており、調子を上げていけば次レースでの自己記録更新、目標とする 28 分台も視野に入ってくる状態にあり、殻を破ってくれることが期待されます。

また、小林は前回のレースより確実に力を戻してきており、6 月の日本選手権に向け期待の持てる結果となりました。

次戦は 5 月に「ゴールデンゲームズ in のべおか」の 5000m、「東日本実業団陸上競技選手権大会」の 1500mを予定しており、小林の活躍が期待されますので、ご期待下さい。

なお、グランプリレースの様子はサンテレビ提供の YouTube でも視聴出来ますので、小林の積極的な走りをご覧ください。

【サンテレビ提供】

<https://www.youtube.com/watch?v=-CRMiIHIF3o>

今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。